

# 「関西のインフラ強化を進める会」開催報告

(一社)近畿建設協会

近畿建設協会では、公益事業の一環として第7回委員会「関西のインフラ強化を進める会」を4月23日に開催しました。

今回は、日本製鉄(株)大阪支社・(一社)日本プロジェクト産業協議会 前関西委員会委員長 松野 正人氏、近畿経済産業局長 森清氏による基調説明のほか、建設コンサルタンツ協会より、関西の高速バスターミナルのあり方等についての説明を行いました。



松野氏



森氏

## 【主な意見】

- 藤本委員 バスターミナルを考えると、北陸新幹線・リニアが来ると、新幹線の南方向への延伸の機能性を担保しておくことが必要となる。また、四国へ繋がる新幹線の可能性も残す。
- 山田委員 ロードマップについては、これから自動運転技術が進むので、自動運転の役割を考えたインフラ整備（ライドシェア）を見据えて2020年～2046年までに造る必要がある。
- 正司委員 色々な機能をフレキシブルに考える必要がある。乗り換え時間や、空間等、道路・鉄道の利用者が使いたいものを一番に入れて考えていくことが重要である。
- 小林委員長 本委員会の設立時には描けていなかったものが、2年経ち一気に前に進んできた。どういう順序でインフラ整備を検討していくのか。

## 議事次第

- ・ 新大阪駅周辺エリアの都市機能強化の提言  
日本製鉄株式会社 大阪支社  
(一社)日本プロジェクト産業協議会 前関西委員会委員長 松野正人 氏
- ・ 「2025年日本国際博覧会」に向けて  
近畿経済産業局長 森清 氏
- ・ 意見交換会
- ・ その他
  - \* 大阪・関西万博（2025年）までのインフラ整備等
  - \* 2025年までに予定されているインフラ整備等
  - \* 関西の高速バスターミナルのあり方(案)

## 委員名簿

(委員長)	小林潔司	京都大学経営管理大学院 教授
	井戸智樹	歴史街道推進協議会 ネットワーク推進部長
	上村多恵子	京南倉庫(株)社長
	小河保之	(株)URリネージュ 参与
	神田彰	関西経済連合会 理事
	木谷信之	阪神高速道路(株) 取締役兼執行役員
	黒川純一良	近畿地方整備局 局長
	佐藤道彦	堺市 副市長
	鹿間孝一	産経新聞 論説委員
	清水喜代志	JR西日本 建設工事部 技術顧問
	正司健一	神戸大学 教授
	竹内廣行	大阪府 副知事
	多田稔子	田辺市熊野ツーリズムビューロー会長
	成瀬英治	近畿地方整備局 副局長(港湾)
	藤本貴也	JAPIC国土・未来プロジェクト研究会 委員長
	前川秀和	西日本高速道路(株) 代表取締役兼副社長執行役員
	村上元伸	関西広域連合 本部事務局 事務局長
	八木一夫	近畿運輸局長
	山田忠史	京都大学経営管理大学院 教授
	若林陽介	三菱自動車工業(株) 管理本部 本部補佐長
(事務局)	霜上民生	近畿建設協会 理事長
(事務局)	兼塚卓也	建設コンサルタンツ協会 近畿支部長

第8回委員会「関西のインフラ強化を進めるために」

日時：2019年7月31日（水）17:00～ 場所：大阪キャッスルホテル

# 新大阪駅周辺エリア 都市機能の強化急務

## JAPICの松野氏指摘

### インフラ強化を進める会

国や自治体、経済界、学識者ら関西の産官学が集まり、経済活動や防災・減災対策、観光振興に欠かせないインフラ整備を考える「関西のインフラ強化を進める会」（委員長＝小林潔司京都市大学経営管理大学院特任教授）は23日、大阪市中央区のプリムローズ大阪で第7回合会を開いた。写真。

点となり、周辺エリアの都市機能強化が急務だ」と指摘した。▽先端産業の拠点として近未来を意識した都市基盤整備▽関西のゲートウエーにふさわしい交通インフラ整備と都市機能の強化を提言の柱とし、具体策として提案した新大阪駅周辺エリア開発やバスターミナル・新御堂筋バイパス（地下）、新淀川第2大橋の建設構想などを紹介。「リニアや北陸新幹線などの乗り入れを見据えた都市計画をみんまで考え、まちづくりを進めていくことが重要だ。JAPICの提言が今後の検討の一助になればうれしい」と話した。

委員からは「新幹線を新大阪駅から梅田、関西空港、紀淡方面に南伸する可能性を担保することが重要だ」「将来の自動運転を見据えた対策も必要になる」といった意見が出た。

続いて、森清近畿経済産業局長が「2025年日本万国博覧会に向けて」と題して講演し、関西の経済規模や国内総生産（GDP）伸びの予測、期待のサービス産業ポテンシャルなどを紹介。大阪・関西万博については「開催まで関西全体が注目を浴び続けるだろう。鉄道などのインフラ整備も進む中で、われわれは夢洲だけでなく周辺地域の

盛り上げにも力を入れていきたい」と語った。最後に建設コンサルタンツ協会近畿支部道路研究委員会が「関西の明日を創造するプロジェクト2050」で提唱している関西の高速バスターミナルの在り方（案）について説明。高速バス停が点在する大阪駅や新大阪駅に加え、リニア中央新幹線と京奈和自動車道の結節点となるバスターミナルの設置などを見据えたバス・関空の整備イメージを示し、高速鉄道と高速バスを組み合わせた観光や交通機能の多様化への対応などが必要だと訴えた。

会議ではまず、日本プロジェクト産業協議会（JAPIC）の松野正人前関西委員会委員長（日本製鉄執行役員）が昨年3月に発表した提言「関西の30年後を見据えた新大阪創生プロジェクト」を紹介した。

